

【平成17年度専修学校教育重点支援プラン】

事業名	建築分野におけるPM/CM関連の高度教育プログラム開発		
学校法人名	学校法人 浅野工学園		
学校名	浅野工学専門学校		
代表者	浅野 久彌	担当者・連絡先	加藤 直樹・045-421-0403
<p><事業の概要></p> <p>(1) ニーズ調査、実態調査、実地調査等各種調査方法</p> <p>本事業では、4年課程の専門学校教育にも利用できる高度教育プログラムの開発を目的としている。そこで、専門学校における4年課程卒業者の社会的ニーズ（専門学校2年課程や4年制大学卒業生に対するニーズとの相違）を明らかにし、モデルを構築するために、事業協力校ごとに都道府県内建設施工会社50社を対象としたアンケート調査を実施する。</p> <p>なお、アンケート結果を集計し、既存の教育プログラムの整理に活かす。</p> <p>(2) 実証講座</p> <p>新規に開発する教育プログラムについて、教育内容および教育手法が目的を達成するために適切であるかを実証する。本事業では、30時間の講義「PM/CM 概論」と、30時間の演習「PM/CM 基礎演習」を土曜講座として計画し、建築施工管理技士の有資格者である社会人を対象とした実証講座を行う。</p> <p>また、対象実験として、既存の教育プログラムについても、建築施工管理技術有資格者や事業協力校教員を対象とした18時間(6時間×3科目)を行う。</p> <p><成果></p> <p>建築分野の専門学校の多くが2年課程が主であったこともあり、木造建築中心の教育内容となっており、これまで現場代理人や社会的ニーズに応えるに必ずしも十分とは云えなかった。しかし、4年制の職業訓練や教育が高度になっていることを受け「高度専門士」、「大学院入学資格付与」が創設された。</p> <p>そこで、本事業では、4年制である浅野工学専門学校が幹事校となり、3年課程以上の事業協力校と共にこれからの4年制専門学校が実践するスキルをアンケート調査し、さらに、起業や経営管理のスキルであるPM/CMなどマネジ</p>			

メントも重要な教育要素と位置づけた高度教育プログラムを開発することを目的として事業を実施した。

具体的には、事業協力校（北海道、東京、横浜(幹事校)、静岡、大阪、福岡）において建設施工会社（各地域 50 社）を対象にアンケート調査し、4 年制建築学科としての教育要素としての必要な教科目、マネジメント教育の必要性についてニーズを調査した。併せて従前より 4 年制の浅野工学専門学校(幹事校)の卒業生に対する当校 4 年課程教育カリキュラムについてのアンケート調査も実施した。これら施工会社・浅野工学専門学校卒業生に対するアンケート(ニーズ)調査からも専門教育の充実とマネジメント教育の導入の必要性が判った。このアンケート調査結果を第三編に示した。

実証講座については、建築分野における PM/CM を新規に教育プログラムへ導入するため、オリジナルテキストを作成し、そのテキストを使い実証講座を実施した。

開講講座の受講者として、建設施工会社勤務 4~5 年の施工管理技術者を対象に、30 時間の講義「PM/CM 概論」と、30 時間の演習「PM/CM 基礎演習」を土曜講座として 2 回実施し、PM/CM における知識体系や演習問題により出来高管理を具体的に数字で示せる講義を行った。この土曜講座は受講者に大変有益な知識を付与することができ、このことは、閉講後の受講者に対するアンケート調査からもその成果が得られた。

また、検証講座として、4 年制浅野工学専門学校(幹事校)既存教科目による実施委員に対する 18 時間の講義も実施した。これら実証講座に関する成果を第四編に示した。

本事業成果は、社会ニーズとして 4 年制建築系専門学校における教育要素教科目は各種構造にわたる教科目の充実が求められた。

さらにアンケート調査自由記載による専門学校 2 年課程や 4 年制大学卒業生とは違う 4 年制建築系専門学校卒業生像は、社会人としての常識・マナーを身につけた人、実行力・実践力を持つ意欲のある人、統率力・リーダーシップの取れる人物といった「人間性」、建設業における施工管理能力を中心に、実務により近い内容を理解した即戦力となれる人材、施工図面を作成し理解できる能力といった「専門性」、材料の手配や予算(積算)の作成などができる経営参加への意欲と意志を持った人といった「マネジメント能力」、資格取得への具体的な目標と意欲のある人といった「資格取得意欲」、これら「人間性」、「専門性」、「マネジメント能力」、「資格取得意欲」を持つ『成果を生み出す能力(コンピテンシー)』を有する人材が求めていることがわかり、そのためには 4 年制専門学校卒業後に就職する生徒は 3 学年次に就職先(施工管理、設計、営業)を絞り込んだクラス編成も必要であるという所感を得た。